

平成28年3月期 中間期決算説明会

平成27年11月20日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

I グループ概要

II 平成28年3月期 中間期決算概要

III 平成28年3月期 通期の見通しと今後の取組



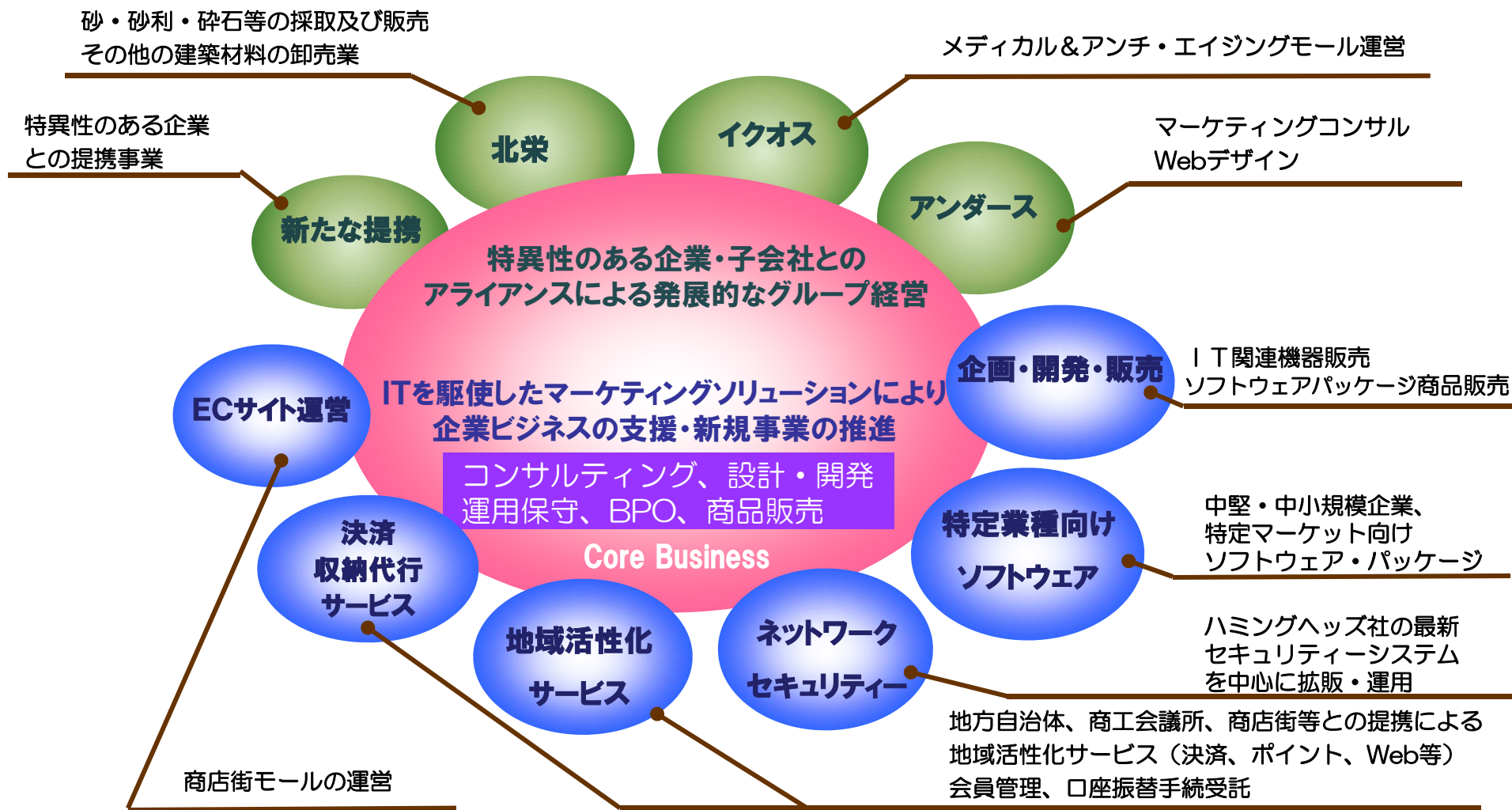
イメージ情報開発株式会社 会社概要

【設立】	1975年（昭和50年）10月
【代表者】	代表取締役社長 代永 衛
【資本金】	4億6,705万円
【事業内容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子会社】	イクオス株式会社/株式会社アンダース（2015年4月株式会社インスパイアから名称変更）
【沿革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年 4月 JPLコンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年 4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年 4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年 9月 インターネットデータセンター開設 平成18年 4月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場 平成19年 5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年 7月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立 平成23年 7月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転 平成24年 9月 株式会社インスパイア（現株式会社アンダース）を子会社化 平成24年12月 NSセミコン株式会社を子会社から除外 平成25年 8月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化 平成25年10月 株式を200分割 平成27年 3月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化から除外



イメージ情報開発グループについて

「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。



- I グループ概要
- II 平成28年3月期 中間期決算概要
- III 平成28年3月期 通期の見通しと今後の取組



バランスシート【連結】

【単位：百万円】

	平成27年3月期 年度末実績	平成28年3月期 中間期末実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	921	1,091	170	18.5
流動資産	606	868	262	43.2
固定資産	315	223	△91	△29.0
負債合計	327	472	145	44.4
流動負債	202	344	141	70.1
固定負債	124	128	3	2.9
純資産合計	594	618	24	4.2
負債純資産合計	921	1,091	170	18.5

- ✓ 流動資産：現預金 33百万円増、売掛金 147百万円増、短期貸付金 85百万円増
- ✓ 固定資産：長期貸付金 86百万円減
- ✓ 流動負債：買掛金 169百万円増、短期借入金 49百万円減、未払法人税等 8百万円増
- ✓ 固定負債：退職給付に係る負債 4百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 15百万円増

中間期損益計算書【連結】



【単位：百万円】

	平成27年3月期 中間期実績	平成28年3月期 中間期実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	358	647	289	80.9
売上原価	309	509	200	64.7
売上総利益	48	138	89	183.7
販管費	143	111	△31	△22.0
営業利益	△94	26	121	—
経常利益	△133	24	158	—
中間純利益	△124	15	140	—

- ✓ 売上高：大手取引先での大規模サーバ入替受注により商品販売分野拡大、システム構築受注も大幅伸長
保守/運用並びにBPO/サービス分野は堅調
- ✓ 経常利益/中間純利益：売上原価対売上高比率8ポイント改善、販管費削減

■ 当中間期連結業績

◎ 売上高 647百万円(前期:358百万円)

(単位: 百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成27年3月期中間期	135	101	30	90	358
平成28年3月期中間期	260	91	207	87	647
前年同期比	193.0%	89.9%	670.8%	97.2%	180.9%

大手取引先での大規模サーバ入替受注により商品販売分野拡大、システム構築受注も大幅伸長、保守/運用並びにBPO/サービス分野は堅調、コンサルティング/設計/構築、運用/保守が減少

◎ 経常利益 24百万円(前年同期:経常損失 133百万円)

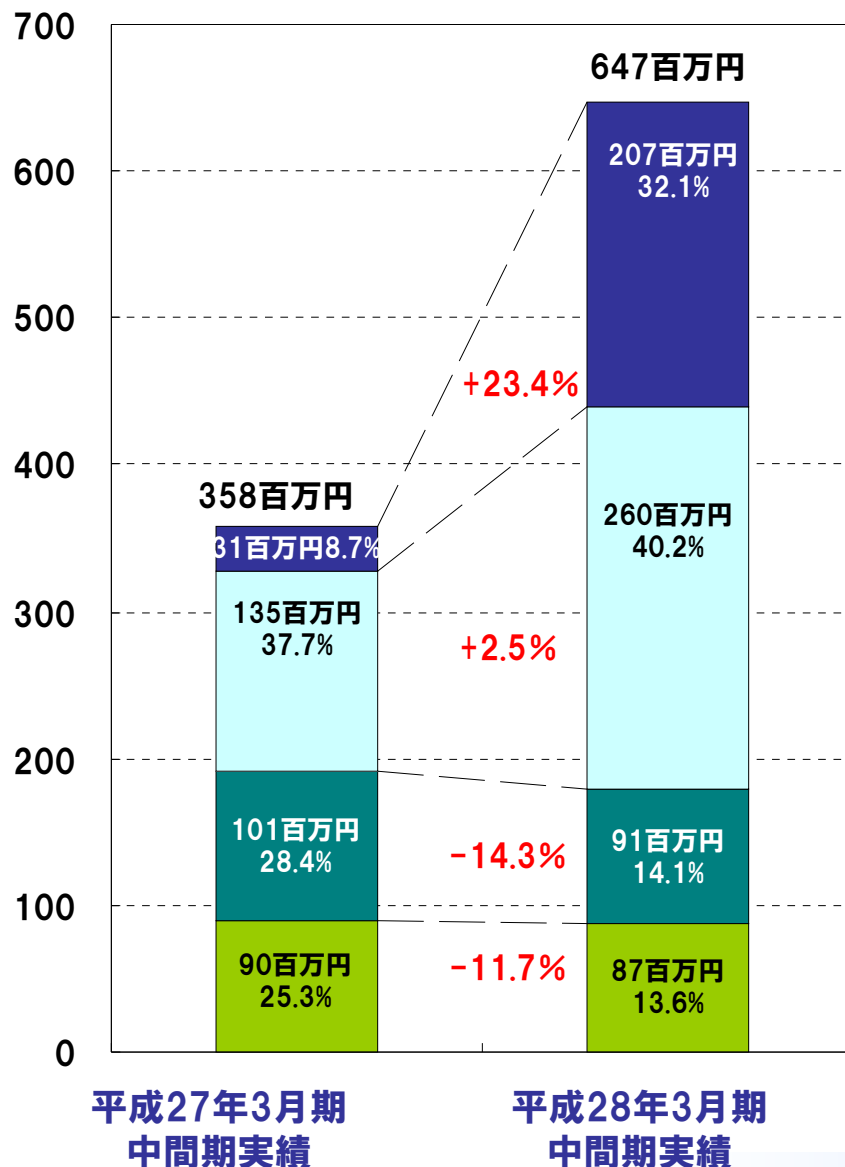
◎ 中間純利益 15百万円(前年同期:純損失 124百万円)

売上原価対売上高比率8ポイント改善、販管費削減



売上構成【連結】

【単位:百万円】



商品販売

大手取引先での大型サーバ入替受注

コンサルティング/設計/構築

大手企業の受注継続、外部要員の活用などによる新規開拓

運用/保守

運用業務契約の一部終了

BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱い、デジタルサインエージによる地域活性化サービスの新規受注で堅調



キャッシュフロー【連結】

【単位：百万円】

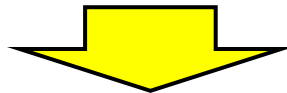
	平成27年3月期 中間期実績	平成28年3月期 中間期実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	△ 30	94	124
投資活動によるキャッシュフロー	△ 58	2	60
財務活動によるキャッシュフロー	20	△43	△63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 68	53	121
現金及び現金同等物の中間期末残高	20	83	63

✓ 営業活動CF：税金等調整前中間純利益	21百万円
売上債権の増加（CFは減少）	147百万円
仕入債務の増加	169百万円
✓ 投資活動CF：定期預金の増加	20百万円
無形固定資産の取得による支出	15百万円
✓ 財務活動CF：借入金の返済による支出	63百万円
非支配株主からの払込みによる収入	10百万円

- I グループ概要
- II 平成28年3月期 中間期決算概要
- III 平成28年3月期 通期の見通しと今後の取組



ネットワーク社会に対応するために、ITを活用して企業モデルの変革に取り組む企業の情報戦略立案～情報システムの運用・管理までを一環してサポートします。

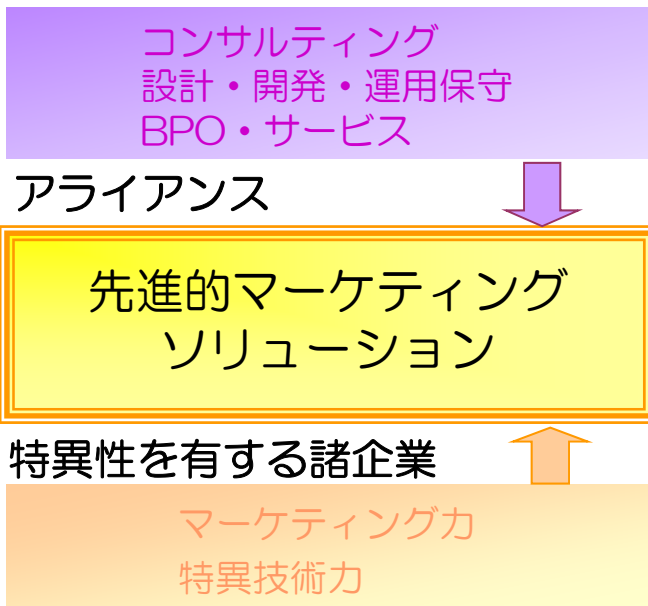


当社グループは、「先進的マーケティングソリューションとそれを支えるIT機能をもって、変革を求める企業の経営を支援する」という理念のもと、子会社アンダースの体制を整備し、グループ全体のマーケティング機能強化に向けた取り組みを推進しております。

独創的ビジネスモデルで時代の変化に対応

- (1) 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンスを実施する。
- (2) 時代の要請に沿ったビジネスモデルを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- (3) 短期的には本年度の黒字化を早期に確定させ、中期的には利益を飛躍的に伸長させる。

当社のIT総合サービス



技術開発による事業基盤の強化
製品・サービスの開発

他社の追従を許さない
独自のトータルサービス

高付加価値データセンター

グループ内の連携プレー



平成28年3月期の通期業績予想【連結】

(単位：百万円)

	平成27年3月期 (実績)	平成28年3月期 通期予想			
		上期 (実績)	下期	通期	増減率(%)
売上高	839	647	755	1,402	67.1
営業利益	△92	26	115	141	—
経常利益	△178	24	117	141	—
当期純利益	△76	15	99	114	—

- 既存大手取引先との大型案件受注獲得と北栄社との業務提携契約による大幅な売上高の拡大
- 新規事業の立上げ
 - ・ アンダース社の有料ECグルメサイト
 - ・ アンダース社、昭文社及びシャープとの提携による「インバウンドビジネス」
 - ・ 免税店システム
- 原価率抑制、販売管理費の一層の削減 等



平成28年3月期の計画(セグメント別状況)

コンサルティング/設計/構築

- 北栄社の業績拡大に伴うコンサル売上
- 大手取引先からの要請に応える体制強化
- パッケージ商品のカスタマイズ受注の推進
- 売上原価率低減の継続取組

運用/保守

- システム構築後の保守業務受託
- ECサイトメンテナンス業務の維持、拡大

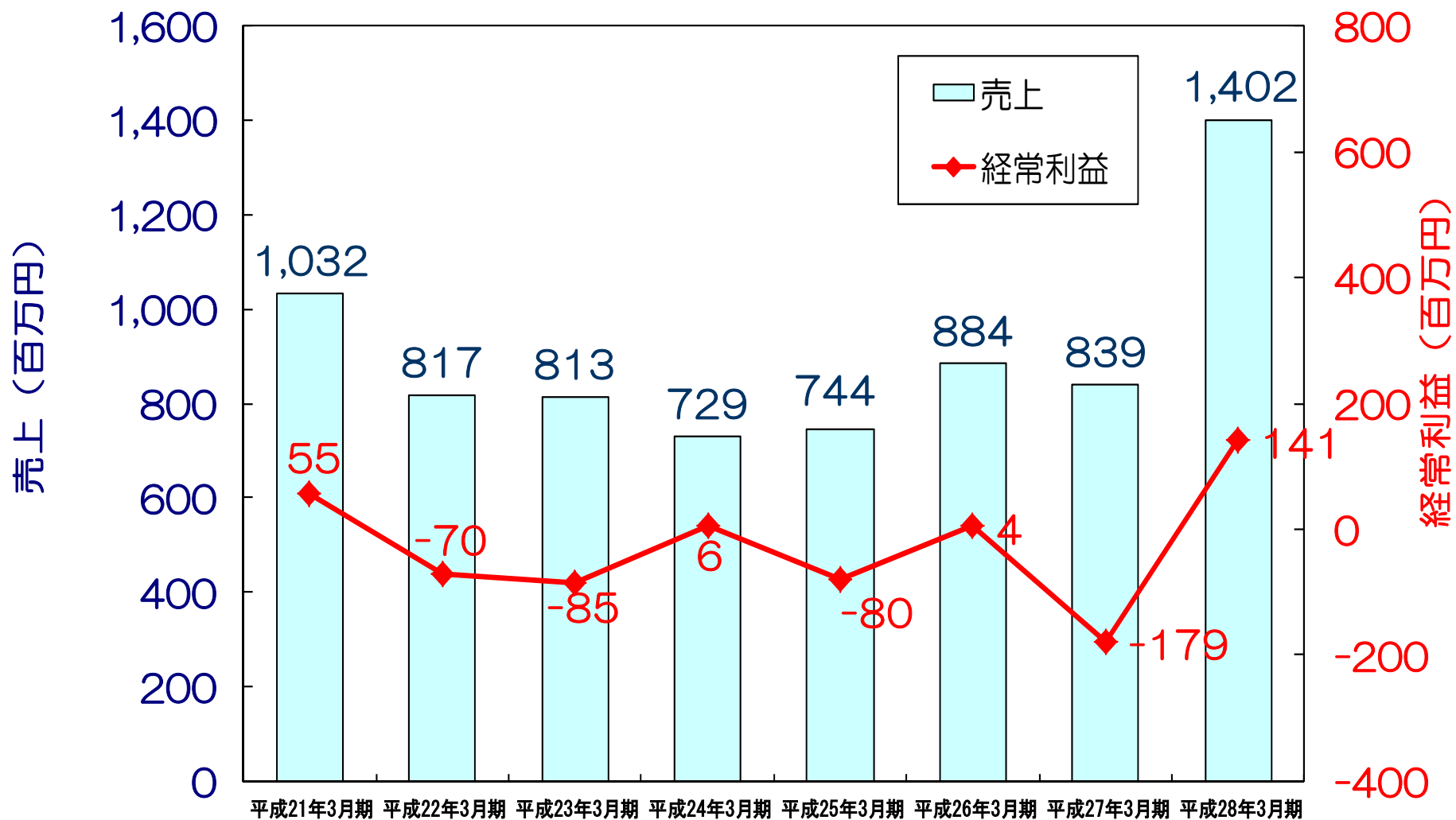
商品販売

- 既存大手取引先の大型機器入替受注済でこれまで計画通りに遂行
- セキュリティライセンス販売の強化

BPO/サービス

- アンダース社による有料ECサイト稼働
- 免税店システム受注先の開拓
- 商工会議所向け検定受付代行システムの再構築による新規取扱い会議所の開拓
- 決済サービスを活用した新たな受注先の開拓

業績推移



■ 事業進捗状況

先進的マーケティングソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・ 大型案件を含む大企業からのシステム設計開発案件の受注確保
- ・ 外部要員を活用した受託案件の増強

◎ 株式会社北栄への新規事業等支援活動

- ・ 那覇空港第2滑走路増設護岸工事後の埋立工事への海砂供給への準備
- ・ 船舶増設により飛躍的な業績向上を見込む
- ・ 懸案であった、新規事業構築に向けての支援活動を本格化させる

◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ スマートフォン、タブレットおよびデジタルサイネージなどの特徴を活かした観光情報発信ソリューション『Easy Navi』の拡充
- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能向上

◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 有料会員組織化に向けた施策推進
- ・ 免税店システムの事業化と受注先獲得活動
- ・ 商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託システムの再構築と拡販



企業活動の内容

■ 企業提携

◎ ハミングヘッズ社との提携強化

- ・ 新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化

◎ 子会社アンダースが昭文社との提携で有料のECサイトを開設

- ・ 料飲食店データベースを保有する昭文社と提携し、同社が保有するデータベースを活用し、中高年齢層に特化した有料会員募集

■ グループ経営インフラの強化

売上原価率の適正化、販売管理費の削減をさらに徹底

■ 株式会社北栄の今後の展望

現在那覇空港では、第二滑走路増設工事が行われており、現在はケーソン（鉄筋コンクリートで作った箱で、波を防ぐ防波堤や船を止めるための岸壁として使用）設置工事準備が行われています。この設置工事が終了するのが平成28年に入る予定で、その後埋立工事へ進みます。まだ正式な受注には至っておりませんが、沖縄県内業者への発注が原則であり、大規模な受注に向けて体制を整備する計画です。

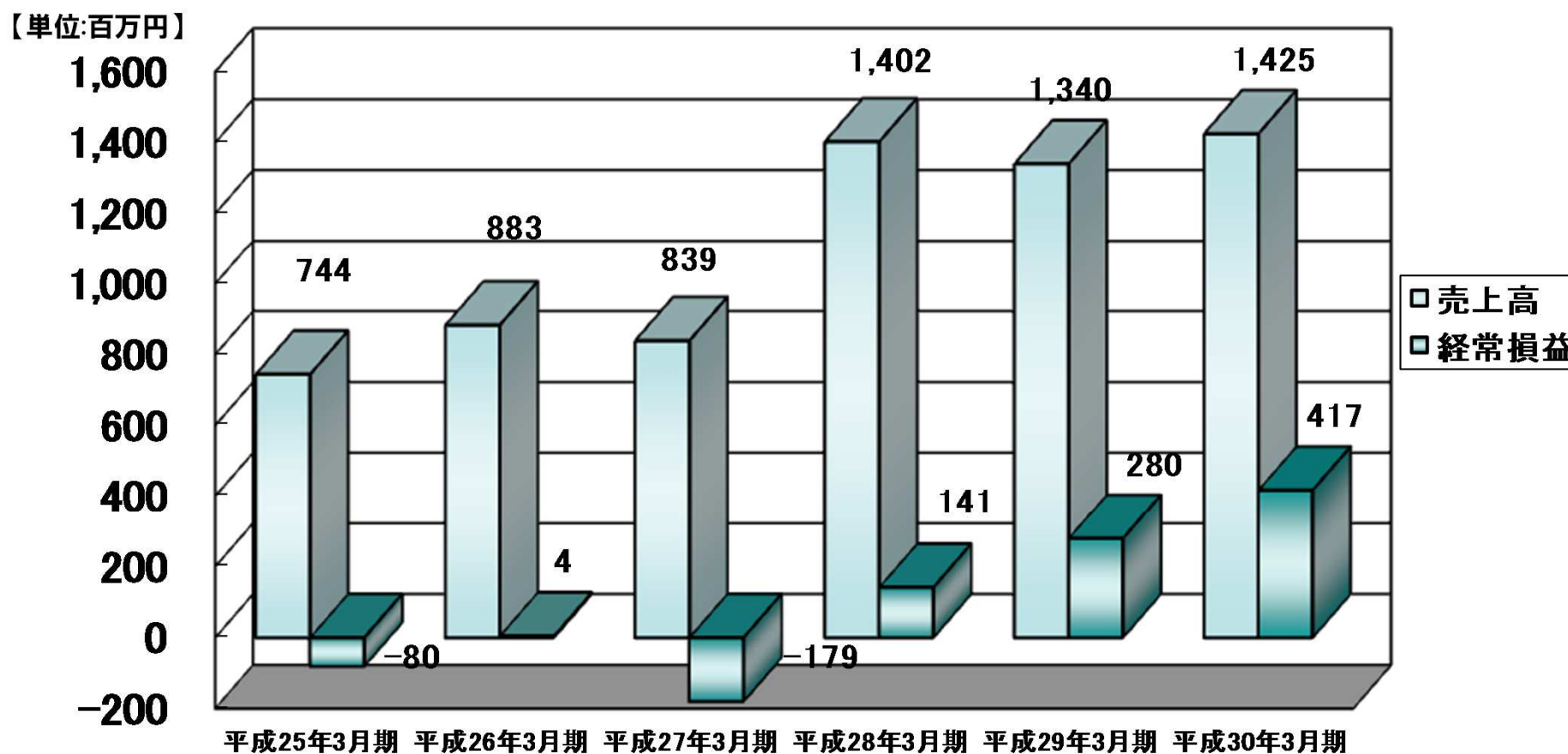
それまでの期間につきましても、養浜工事等が予定されており、間断なく業務が遂行される予定です。

沖縄県では、これから極めて大規模な埋立工事が行われる予定が示されており、沖縄県発展のためにも北栄社に寄せられる期待が大きく、経営的支援を継続して行ってまいります。



3か年計数計画

- 平成27年3月期 売上高 839百万円、経常利益 △179百万円
- 平成28年3月期 売上高1,402百万円、経常利益 141百万円
- 平成29年3月期 売上高1,340百万円、経常利益 280百万円
- 平成30年3月期 売上高1,425百万円、経常利益 417百万円





本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。